

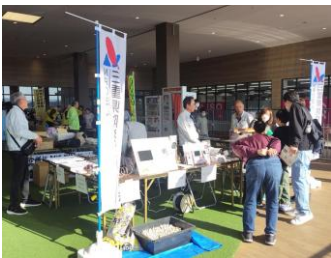
■ **ご挨拶**

NPO法人 **三重県防犯設備協会**  
理事長 **藤村 喜成**

新年あけましておめでとうございます  
令和8年の新春を迎え、会員の皆様におかれましては、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。  
また、平素より当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。  
昨年は、警察庁からの「安全安心まちづくり推進要綱」の改正や「防犯カメラの設置の推進について（通達）」が示され、防犯設備士の役割が一層重要となった一年でした。  
特に「まちの防犯診断」事業においては、地域の環境を点検し、犯罪の未然防止に直結する効果を最大限に高める取り組みが進められました。こうした活動は、地域の安全意識を高めるとともに、防犯設備士の使命を改めて実感させるものとなりました。  
本年は、当協会事業の重点を「まちの防犯診断」に置き、地域に根ざした防犯活動をさらに推進してまいります。  
診断結果をもとにした改善提案や啓発活動を通じて、地域住民と共に安全・安心なまちづくりを進めていく所存です。  
併せて、既存会員の皆様には重要なお知らせがあります。防犯設備士の資格更新制度が大きく改正され、資格有効期間が従来の3年から5年へと延長されるとともに、これまで更新義務のなかった方にも新たに更新義務が発生いたします。資格を保持し続けるためには、定期的な更新講習の受講が必要となりますので、十分にご注意いただきたいと思います。  
最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ **協会の活動内容**

1. **安全・安心フェスタまつさかで防犯展示・説明**



辰小云場の挨拶

令和7年12月7日イオンタウン松阪船江にて「安心・安全フェスタまつさか」が盛大に開催されました。  
地域の皆さまに安全・安心の大切さを知っていただくことを目的に、体験型イベントや展示を通じて幅広い啓発活動が行われました。

当日は晴天に恵まれ、会場には防災・防犯に関する啓発コーナーや子ども向けの楽しい体験ブース、地域の安全を守る取り組み紹介など、多彩な内容が並びました。特に「こども運転免許証作成コーナー」や消防車

・パトカーの展示は子供たちに大人気で、体験を楽しむ姿が多く見られました。

三重県防犯設備協会では、防犯相談や防犯設備の展示・説明ブースを設置し、防犯の重要性や防犯設備の活用をアピールしました。

防犯相談では、防犯ガラスやアルミサッシ、自分でできる防犯グッズの説明に真剣に耳を傾ける来場者が多く、「侵入などのニュースを見ると自分の家も心配になる」といった声も聞かれました。

これを機に、安全・安心について改めて考えていただけたのではないかと思います。

展示ブースでは、①防犯カメラ設備②TVインターホン③防犯砂利④錠前⑤振込詐欺防止機器「振込め詐欺見張隊（ECO・ECO）」などを紹介し、防犯設備士による説明に多くの来場者が耳を傾けていました。

特に、防犯カメラや防犯砂利には子どもたちも興味津々で、実際に砂利に乗ったり、カメラの映像を見たりして、体感してもらいました。また、「最近、知らない人からいきなり電話がかかってくる」という声も多く、振り込め詐欺防止の啓発にもつながったと思います。

毎年実施しているイベントですが、今回は昨年度と場所が変わり、好評だった「ガラス割りの実演」ができないなどの心配もありました。

三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人

**三重県防犯設備協会**



<http://www.miebouhan.com/>



しかし、イオンタウンという立地もあり、お子様連れの来場者が多く、防犯に関する良いアピールになったと感じています。

地域の皆さまが安全・安心について改めて考えるきっかけとなった一日でした。  
今後も防犯・防災意識を高める取り組みを続けてまいります。

(松岡理事記)

## 2. 地域リーダー養成講座及びスクールガードリーダー研修会で講演

令和7年8月22日、「地域リーダー養成講座及びスクールガードリーダー研修会」に於いて、「防犯カメラの設置について」という題目で講演を実施しました。

今回の講演では、1) 近年の防犯カメラを取り巻く社会状況について 2) 防犯カメラの有効性について 3) 街頭防犯カメラの設置について 4) 各ご家庭・事業所へのカメラの設置についてお話をさせて頂きました。

まず、近年の防犯カメラを取り巻く社会状況についてですが、十数年前と比較すると、非常に防犯カメラが身近な存在となり、設置し易い環境になってきました。特定の使用目的のために動画を記録するという行為は、ドライブレコーダーの普及によって非常に身近なものとなり、近年の体感治安の悪化も含めて、一層防犯カメラの必要性が高まってきた時代であると感じます。

次に防犯カメラの有効性ですが、防犯環境設計(CPTED)の4つの要素のうち、監視性の確保と領域性の確保に優れた効果を発揮する点について説明しました。街頭防犯カメラの設置、各ご家庭・事業所へのカメラの設置については、それぞれに於いて必要となる技術事項や、補助金、運用方法についてお話をさせて頂きました。特に、地域の防犯レベル向上には、街頭防犯カメラだけに頼るのではなく、各ご家庭・事業所へのカメラ設置台数を増やして、地域全体の防犯カメラの台数を増やしていくことが重要である旨お伝えしました。

参加者の皆様方は、既に街頭防犯カメラの設置に携わられている方々も多くお見えになり、活発な意見交換が行われました。

(楠副理事長記)

## 3. 第2回 犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進協議会で提言

—— 防犯優良戸建て住宅認定制度の活用を提言 ——



推進協議会の模様

令和7年11月12日、「第2回 犯罪のない安全で安心な三重のまちづくり推進協議会」が開催され、令和8年度で期間が満了する『安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム第3弾』の次期計画案について改訂に関する議論が行われました。会議では、特殊詐欺への対策についてもこれまでの「高齢者を守る」という観点に加え、若年層を含めた全世代への被害拡大を踏まえた新たな取り組みの必要性が議論されました。

また、侵入盗の被害件数が増加している現状にも触れ、実効性ある対策の強化が求められています。三重県防犯設備協会からは、侵入盗対策の一環として「防犯優良戸建て住宅制度」の認定を行っていることを報告し、この制度の普及を通じて、犯罪者が侵入をためらう住宅の増加を目指すべきと提言しました。

さらに、日本防犯設備協会も関与している国土交通省の「既存住宅の防犯リフォーム支援」に関する最新情報を共有し、行政・警察・民間が連携した防犯まちづくりの推進を呼びかけました。

(松林理事記)

## 4. 防犯スペシャリストのミニ研修会開催

令和7年8月22日、防犯スペシャリストミニ研修会が開催されました。

防犯スペシャリストと会員が参加して、実地報告や講義を通じて防犯意識を高める有意義な機会となりました。

藤村理事長から伊勢市藤里町において実施した「まちの防犯診断」の報告が行われました。

地域の住宅地、公園などを対象に危険箇所の点検を行い、改善点などが具体的に示され、参加者は地域の現状を踏まえた改善策を共有し、住民と協働して安全なまちづくりを進める重要性を再確認しました。楠副理事長からは、防犯カメラの普及に関する講義が行われ、犯罪抑止や事件解決における防犯カメラの役割が高まっていることから、設置の効果や運用上の留意点について解説がありました。

参加者は、地域特性に応じた設置方法やプライバシー保護の観点を学び、今後の普及促進に向けた理解を深めました。

(藤村理事長記)

## 5. 行政との情報交換会開催

令和7年11月27日三防設理事会に続いて定例の年1回開催する行政との情報交換会を（有）松林工業の会議室に於いて16時から17時30分まで開催致しました。

この情報交換会は三防設の活動内容や今後の事業の展開などを発表し、行政の意見をお聞きすると共に行政側の安全安心の施策をお話いただき、お互いに意見交換する目的で開催するものです。

今回は、県環境生活部くらし・交通安全課の武馬主幹様、県警生活安全企画課の和田係長様、県防連山内専務理事様に出席いただき三防設から三防設の活動状況、日本防犯設備協会全国大会の概要、まれの防犯診断実施結果、防犯カメラ普及促進への展開について報告し意見交換を行いました。

行政側からは今後の防犯に対する施策についてお話をお聞きしました。

(楠副理事長記)

## ■ 関連行事・イベント・その他

### 1. 【日防設】第20回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会



会場の様子

令和7年11月7日ホテル プリムローズ大阪で第20回都道府県防犯設備士(業)協会全国大会が開催されました。

本会議には、警察庁、大阪府警察本部、大阪府防犯協会連合会の来賓をはじめ21地域協会から46名、総合防犯設備士、日本防犯設備協会など出席総数90名が参加し盛大に開催されました。

廣田代表のご挨拶では、警察庁では5年ぶりに「安全・安心まちづくり推進要綱」の改正、本年10月に愛媛県に地域協会が設立され、47都道府県の

内、残る未設置県は佐賀県のみとなったこと、防犯設備士資格の更新制度変更など報告されました。

続いて来賓の挨拶の後、第1部の本会議に入り日防設からの報告があり主な事項を挙げると

#### ①防犯設備士養成講習・資格認定試験の状況

防犯設備士の受験者数の減少傾向が続いており2024年度も目標の800件を下回っており、協会では受験者紹介制度の活用促進を進めている。

制度では地域協会の紹介により受験者は、受験料は一般価格44000円が会員価格の35000円となる。

#### ②防犯設備士資格の更新講習の状況、資格更新促進について

資格更新期間が従来の3年から5年に変更されている。また、平成24年度以前に資格更新義務のなかった者にも資格更新の義務が発生し、来年4月の施行開始から3年以上経過すれば資格が失効する。

1～2回主要都市で実施（東海地区は名古屋で年1回実施）する。

認定制度分科会の取り組み及び活動計画について

国交省も関与している「リフォーム推進協議会」ではリフォーム事業の中へ「防犯」も取り入れることになり、日防設もメンバーに入りガイドラインの策定など活動している。

地域協会の活動状況について千葉、神奈川、愛知、大阪の4地域協会から報告が行われました。

千葉からは千葉県浦安市と防犯に関するコンサルタント要請、神奈川からは神奈川県警と協働して認定した防犯優良住宅の見学会を実施、愛知では「まちの防犯診断」を4月から10月まで32か所実施、大阪では大阪府下の小学校130校の防犯診断を実施などの報告が行われた。

第2部の講演会は「子どもの安全は、大人たちのまなざしの先にある」のテーマで大阪教育大学 教授 藤田大輔様からご講演をいただきました。

第3部の懇親会は、次回開催地の埼玉県防犯設備協会会長山田様の中締めで閉会となりました。

(加藤理事記)

### 2. 三重県の「安全・安心まちづくりフォーラム」に防犯機器展示説明

令和7年10月21日三重県庁講堂において安全・安心まちづくりフォーラムが開催され、三防設では会場でテレビドアホン、CP錠などの防犯機器の展示、説明を行いました。

県からアクションプログラム第3弾の説明が行われ、続いて伊賀白鳳高校から地域との絆を大切に防犯活動の取り組みについて、伊勢市上地地区自主防犯パトロール隊からはマイペースで実施している青パトによる防犯活動の紹介が行われました。

警察本部からは、令和5年から急増してきたSNS型投資詐欺、ロマンス詐欺などを背景に鈴鹿市の演劇集団「青の会」による特殊詐欺の危険性を訴える迫真の演技が披露されました。

(加藤理事記)

#### 4. 地域安全・暴力追放三重県民大会で防犯機器展示



ロビーで展示

令和7年10月3日、県総合文化センター中ホールにおいて「令和7年地域安全・暴力追放県民大会」が開催されました。大会には県議会、自治体、公安委員会、地域防犯協会などの関係者をはじめ、多くの来賓が出席し、約600名の参加者が集いました。第1部では、防犯活動功労者及び暴力追放活動功労団体に対する表彰式が行われ、各受賞者に惜しめない称賛が送られました。

地域の安全に尽力する団体や個人が顕彰され、暴力追放への取り組みの重要性が改めて確認されました。続く第2部では、専門研究員による基調講演「闇バイトの被害者、加害者にならないために」が行われました。

SNSを通じた高額バイトの勧誘により、若者が犯罪に巻き込まれる危険性が社会問題化している現状を踏まえ参加者は深い関心を寄せました。さらに、演劇団体による特殊詐欺被害防止演劇が披露され被害防止への理解を一層深める機会となりました。

大会の最後には警察音楽隊による力強い演奏が行われ、会場は大きな拍手に包まれました。

ロビーでは三防設が防犯設備の展示を行ない、来場者に向けた啓発活動や防犯に関する相談対応も実施されました。参加者は最新の防犯機器に触れながら、防犯意識を高める機会となりました。

(藤村理事長記)

#### 5. 中部地区の防犯設備士対象更新講習を実施

令和7年10月8日、愛知県ウィルあいちにおいて防犯設備士更新講習が開催されました。本講習は、防犯設備士の知識と技術を最新の水準に保ち、地域の安全に寄与することを目的として実施され、多くの防犯設備士が参加しました。

【最新機器展示】会場ロビーでは、防犯設備の最新機器展示が行われました。来場者は監視カメラや入退室管理システムなど、最新技術を活用した防犯機器に直接触れることができ、実際の運用イメージを体感しながら防犯意識を高める機会となりました。

【更新講習】防犯設備士として必要な最新知識や制度改正への対応について解説が行われました。参加者は、設備の選定・設置・維持管理に関する最新の技術情報を学び、今後の業務に活かすための理解を深めました。

【地域セミナー】併せて開催された地域セミナーでは、総合防犯設備士による「過去の重要犯罪の分析と対策」に関する提言が行われました。銀座天賞堂窃盗事件などの事例をもとに事件を検証し、「どうしたら防げたか」「自分だったらどう対策するか」という視点から考察が進められました。

本講習は、防犯設備士の資質向上と地域防犯力の強化を目的とした重要な機会となり、最新機器展示・更新講習・地域セミナーを通じて、参加者の防犯意識と技術力の向上に大きく寄与しました。

(藤村理事長記)

##### 【防犯カメラのカタログを同封】

家庭用に簡単に設定・操作できるモニター付き防犯カメラのカタログを同封しました

#### ■ 会員プロフィール紹介



山内範秀 NPO法人三重県防犯設備協会会員  
住所 津市栄町1丁目100番地(三重県警察本部内)  
勤務先 三重県防犯協会連合会  
電話 (059) 225-4333  
E-mail bohanmie@gamma.ocn.ne.jp  
HP https://bohanmie.jp  
趣味 温泉巡り、家庭菜園、ゴルフ

「安全・安心なまちづくり」のスペシャリストとして、防犯機器、防犯設備の普及促進活動を推進している当協会の会員として、また目的を同じくする、私が所属する三重県防犯協会連合会の責任者として、今後も足並みを揃えて「安全で安心な地域社会の実現」を目指し、各種活動を行っていく所存です。

#### ■ 事務局からのご連絡

・次回発行予定 三防設通信は第35号を2026年8月にお届けの予定です。

編集責任者 NPO法人 三重県防犯設備協会 〒514-0131 三重県津市あのみつ台4-7-7 (三重電業(株)内)

TEL 059-232-0303 FAX 059-232-5586

## ■ ご挨拶

NPO法人 三重県防犯設備協会  
理事長 藤村 喜成

新年あけましておめでとうございます

令和8年の新春を迎え、会員の皆様におかれましては、ご健勝にて輝かしい新年を迎えられましたことよりお喜び申し上げます。

また、平素より当協会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、警察庁からの「安全安心まちづくり推進要綱」の改正や「防犯カメラの設置の推進について（通達）」が示され、防犯設備士の役割が一層重要となった一年でした。

特に「まちの防犯診断」事業においては、地域の環境を点検し、犯罪の未然防止に直結する効果を最大に高める取り組みが進められました。こうした活動は、地域の安全意識を高めるとともに、防犯設備士の使命を改めて実感させるものとなりました。

本年は、当協会事業の重点を「まちの防犯診断」に置き、地域に根ざした防犯活動をさらに推進してまいります。

診断結果をもとにした改善提案や啓発活動を通じて、地域住民と共に安全・安心なまちづくりを進めいく所存です。

併せて、既存会員の皆様には重要なお知らせがあります。防犯設備士の資格更新制度が大きく改正され資格有効期間が従来の3年から5年へと延長されるとともに、これまで更新義務のなかった方にも新たに更新義務が発生いたします。資格を保持し続けるためには、定期的な更新講習の受講が必要となりますので、十分にご注意いただきたいと思います。

最後になりますが、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 協会の活動内容

## 1. 安全・安心フェスタまつさかで防犯展示・説明



展示ブースの様子

令和7年12月7日イオンタウン松阪船江にて「安心・安全フェスタまつさか」が盛大に開催されました。

地域の皆さまに安全・安心の大切さを知っていただくことを目的に、体験型イベントや展示を通じて幅広い啓発活動が行われました。

当日は晴天に恵まれ、会場には防災・防犯に関する啓発コーナーや子ども向けの楽しい体験ブース、地域の安全を守る取り組み紹介など、多様な内容が並びました。特に「こども運転免許証作成コーナー」や消防

・パトカーの展示は子供たちに大人気で、体験を楽しむ姿が多く見られました。三重県防犯設備協会では、防犯相談や防犯設備の展示・説明ブースを設置し、防犯の重要性や防犯設備の活用をアピールしました。

防犯相談では、防犯ガラスやアルミサッシ、自分でできる防犯グッズの説明に真剣に耳を傾ける来場者が多く、「侵入などのニュースを見ると自分の家も心配になる」といった声も聞かれました。

これを機に、安全・安心について改めて考えていただけたのではないかと思います。

展示ブースでは、①防犯カメラ設備②TVインターホン③防犯砂利④錠前⑤振込詐欺防止機器「振込め詐欺見張隊 (ECO・ECO)」などを紹介し、防犯設備士による説明に多くの来場者が耳を傾けていました。

特に、防犯カメラや防犯砂利には子どもたちも興味津々で、実際に砂利に乗ったり、カメラの映像を見たりして、体感してもらいました。また、「最近、知らない人からいきなり電話がかかってくる」という声も多く、振り込め詐欺防止の啓発にもつながったと思います。

毎年実施しているイベントですが、今回は昨年度と場所が変わり、好評だった「ガラス割りの実演」ができないなどの心配もありました。

三重県の安全・安心まちづくり

NPO法人

三重県防犯設備協会

<http://www.miebouhan.com/>

